

トーマス・レヴィ医師 特別講演

日米から学ぶ統合医療最前線



New Age
Medicine
2017 - 2026

プログラム詳細

開会の挨拶：13：00

Lecture1 13：10~14：40

トーマス・レヴィ リオルダンクリニックコンサルタント 心臓専門医・弁護士

動画出演
(同時通訳)

最前線の統合医療で抑えておきたい必須ポイント

慢性疾患と感染症の予防 / 治療の鍵「マグネシウム」の使い方

カルシウムは、細胞の機能と生存に不可欠な栄養素である一方、高濃度で存在すると細胞にとって毒となることはあまり知られていない。多くの成人は、細胞内のカルシウムが過剰な状態にあり、結果として細胞の酸化ストレスの上昇や、細胞の機能不全による慢性疾患を引き起こしている。一方でマグネシウムには、細胞内に過剰に存在するカルシウムの毒性を中和する能力がある。また、特に塩化マグネシウムは、すべての感染症の予防・治療において非常に重要な役割を果たす。本セミナーでは、病気の予防・治療におけるマグネシウムの重要性、感染症予防の必須要素に加え、腸内マイクロバイオームの重要性と実践的な腸内環境改善法についても紹介する。

Lecture2 15：00~15：30

柳澤 厚生 鎌倉元氣クリニック名誉院長 点滴療法研究会マスターズクラブ 会長

新型コロナウイルス感染と後遺症

新型コロナウイルス感染はワクチンの導入により新しいステージに入ったと思われるが、ワクチン戦略は長期的に様々な問題を残している。その中で高濃度ビタミンC点滴、経口のビタミンC、D、亜鉛を中心とする栄養療法は予防・治療の重要なツールであり、医学的有用性が確立されている。また、新型コロナウイルスによる肺炎は、細菌性肺炎との合併症で重症化することが指摘されており、口腔ケアの重要性も注目されている。今後の大きな問題は新型コロナの感染後に長期にわたって続く息切れや倦怠感、味覚・嗅覚異常などの後遺症 (Long Covid) である。しかし、新型コロナ後遺症の治療法の確立はまだまだこれからである。講演では新型コロナウイルス感染の予防・治療ならびに後遺症治療について最新の情報を解説する。

Lecture3 15：50~16：50

森永 宏喜 森永歯科医院 院長 米国抗老化医学会 (A4M) 認定医 セミナーコーディネーター

動き始めた The Oral-Gut-Brain AXIS ~ヒトは細胞 - 細菌複合体! ~

口腔疾患、特に歯周炎と全身の健康との関連を研究する Periodontal Medicine (歯周医学) が今世紀初めに創始されて以来、この分野は着実な成果をあげてきた。特にこの10年、腸内と口腔内の細菌叢の解析による直接的、間接的な相互関係の知見は大きく集積された。さらに口腔の中樞神経系への影響、特にアルツハイマー型認知症の発症・進展への歯周病原性細菌の関与、歯牙の喪失による脳内の神経変性カスケードの存在などが明らかとなった。従来から重要性が指摘される腸脳相関とあわせて、医療者はそれぞれの専門分野を越えて幅広い知識の共有が求められている。これらを俯瞰することで今後のさらなる医科歯科連携の重要性と可能性を探る機会としたい。

質疑応答 16：50~17：10

閉会の挨拶 17：15

※当日の進行状況により、プログラムの時間が変更になる場合もございます。ご了承ください。